

平成28年度 当初予算要求事業内容説明書

3款 3項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

基本施策4 高齢者支援の充実

施策4 認知症施策を推進します

【会計】介護保険特別会計

3款:地域支援事業費 3項:包括支援事業・任意事業費 1目:包括支援

事業	42	認知症施策推進事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額】

予算要求額	(財源内訳)				
	一般財源	国庫支出金	県支出金	地方債	その他特財
17,374千円	3,822千円	6,776千円	3,388千円		3,388千円

【事業の概要】

事業の概要	①認知症初期集中支援チームモデル事業を行います。 ②認知症カフェの開設により、認知症の人と家族、地域の人とのつながりを支援します。
事業の目的	認知症の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、認知症の早期発見・早期対応に向けた支援体制を構築するとともに、認知症の理解促進のための啓発を行い、「認知症にやさしい佐倉」を推進します。
事業の効果	地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することで、地域の高齢者が安心して在宅生活を継続することができます。

【予算額の節別内訳】

節	予算額	説明
8 報償費		
報償金及び謝礼金	2,506千円	認知症対策検討会委員謝礼(17人分×5回)、 認知症サポート医謝礼(5人分)、研修会講師謝礼(1人分×1回)
9 旅費		
普通旅費	25千円	職員の出張に要する交通費
11 需用費		
消耗品費	9千円	事業用(研修実施関連)消耗品
食糧費	14千円	認知症対策検討会等の実施に係るお茶代(17人分×5回)、 研修会講師弁当、お茶代(1人分×1回)
印刷製本費	200千円	認知症ケアパス(3,000部)、さくらパス(500部)の印刷代
13 委託料		
認知症カフェ運営委託料	1,560千円	認知症カフェ運営委託料(各日常生活圏域(5箇所)に配置)
認知症初期集中支援チーム活動委託料	5,952千円	認知症初期集中支援チーム活動委託料(各日常生活圏域(5箇所)に配置)
認知症初期集中支援チーム員研修参加負担金	200千円	認知症初期集中支援チーム員研修参加負担金(各日常生活圏域(5箇所)から1人ずつ、計5人)
認知症地域支援推進員活動委託料	6,908千円	認知症地域支援推進員活動委託料(各日常生活圏域(5箇所)に配置)
計	17,374千円	

【活動指標・成果指標】

指標名	平成28年度計画値
検討会議の開催	5回
認知症の人と家族に対する 支援の場の設置	8箇所
認知症専門職研修会参加者数	100人
認知症施策が充実していると感じる 市民の割合	33%